

第58回企画展

食糧増産運動時代の 病害虫防除



平成25年10月6日(日)~12月27日(金)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

作物に対する病虫害防除は耕種技術の進歩とともに発展してきましたが、明治・大正～第2次世界大戦までは、防除機具も肩掛け噴霧機が使用された程度であり、使用薬剤も種類が少なく、防除面積も小規模にとどまっていた。

これに対し、大戦後は食糧増産、安定多収、省力化など時代の要請を背景として、使い易い農薬や防除機具が開発され、これらの導入に対する補助や融資により躍進を遂げてきました。

昭和40年代に入り、農薬の毒性に関する議論が高まり、食品への残留・環境汚染等が問題となり、現在は農薬の使用に起因する危被害防止の徹底を図りながら、安全・安心を心がけ、防除が行われるようになっていきます。

企画展では、明治以降の病虫害防除技術の発達過程と第2次世界大戦後の食糧増産運動時代に使われた防除技術指導資料・農薬散布機具等を紹介します。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL: 0197-68-3975

開館時間 / 9:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

休館日 / 月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料 / 一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等 (20名以上) あります

駐車場 / 大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台